

## 鍬ノ峰

鍬ノ峰(くわのみね)は、長野県大町市にある標高 1,623m の山である。南峰(標高 1,560m)と、鍬ノ峰北峰(標高 1,623.3m)の2つのピークがある双耳峰となっている。

鍬ノ峰は大町市街から北アルプスの眺めを遮るゴツゴツとした大きな山城となって見える。その山名は、南峰から北峰の山様が、農機具の平鍬の刃のように見えることから付けられたようである。

この山を南方の松川村や池田町方面から眺めると、鋭いピラミッド型の美形で、「常盤富士」ともよばれている。西にそびえる餓鬼岳などの高山に決して見送りしない山である。

登山口は、大町市仏崎地籍・観音寺と、餓鬼岳・白沢登山口の先の林道終点手前の二つがある。どちらの登山口から登るルートも、途中に急傾斜の箇所がある。

仏崎観音寺から山頂へのルートは、平成13年・大町高校百周年を記念して、大町高校山岳部が開設したものであり、現在は大町岳陽高校が定期的に登山道を整備している。

5月下旬から6月ごろに、シャクナゲや山ツツジが可憐な花を咲かせる山として有名であり、シャクナゲが群生する北アルプス展望の山として訪れる登山者が増えている。

山頂からは餓鬼岳・唐沢岳・蓮華岳・鹿島槍などを大迫力で見ることができる。